



～季節の花便り～

茨城の海岸部の晩秋を彩る花々、開花中!

日差しを浴びて輝く姿はまるで金平糖 **イソギク** 咲き始めました



平成 21 年 10 月 22 日撮影

ひたち海浜公園では、**海岸部の秋を彩る花々が開花中**です。

写真は、花びらがなく、鮮やかな黄色の小花が固まって咲く姿がまるで「**金平糖**」のような日本原産のキク、**イソギク**です。葉っぱも表と裏で、濃い緑と白銀色のコントラストが美しい植物です。

また、同じく日本原産で、**地元“ひたちなか市の花”でもあるハマギク**も開花中です。青く抜ける秋空に向かって白く凛と輝く姿は、見る人に元気を与えてくれます。本公園は、その沖合いで寒流と暖流がぶつかり合う影響から、自生地が南限や北限である植物が混在する特有の自然環境を有しており、「イソギク」は茨城県が北限、「ハマギク」は南限となっております。

本公園では昔から茨城の海岸部の晩秋を彩る花々として、「イソギク」、「ハマギク」に「ツワブキ」を加え、パートナー（ボランティア）の方々の手により、数を増やしてきております。

なお、ハマギク、ツワブキは11月上旬、イソギクは下旬までお楽しみいただけます。

お問い合わせ先

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼605-4

ひたち公園管理センター企画課 穂積・小堆・鈴木
電話 (029) 265-9005 FAX (029) 265-9339
※お客様問い合わせ電話番号 (029) 265-9001

ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp>

晩秋日差しを浴びて輝く姿はまるで金平糖

イソギク

Chrysanthemum pacificum

キク科キク属多年草

原産地：日本

開花：

10月下旬～11月下旬



【イソギク豆知識】

イソギクは茨城県を北限とし、本県以南の太平洋側に分布し、海岸の岩石地や崖などに群生する20～40cmの多年草です。

イソギクの名は、“磯に生える菊”ということから付けました。葉の表面が濃い緑色、裏面が銀白色というコントラストが美しく、花びらのない鮮やかな黄色い筒状の花が密にかたまって咲きます。属名 *Chrysanthemum* (クリサンセマム) は、「金の花」というラテン語に由来します。

【ひたち海浜公園のイソギク】

ひたち海浜公園では、平成20年から21年にかけて公園ボランティア「海浜植物パートナー」さんがイソギクの挿し芽を行い、常陸野サークルに400株増やしています。

■10月25日現在の状況

現在、日当たりの良い場所から咲き始めており、11月下旬頃まで園内各所でお楽しみいただけます。

砂丘エリア「グリーン工房」付近

面積：約150㎡ 株数：約2,300株
砂丘エリア内をゆったりと散策しながら、紺碧の海に映えるイソギクをご覧ください。



砂丘エリア「海浜テラス」付近

面積：約100㎡ 株数：約1,500株
自生地である崖を思わせる岩の合間に咲く風情をお楽しみいただけます。



「記念の森レストハウス」前

面積：約270㎡ 株数：約4,300株
日当たりの良い斜面に咲いており、間もなく見頃を迎えます。



「はまかぜ橋」付近

面積：約13㎡ 株数：約200株
サイクリングで爽やかな風を感じながら、イソギクを鑑賞するのもおすすめです。



茨城の生んだ植物学者、松村任三が名付け親 地元“ひたちなか市の花”

ハマギク

Nipponanthemum nipponicum

キク科キク属多年草

原産地：日本

開花：

10月上旬から11月上旬

【ハマギク豆知識】



ハマギクは本州の茨城県以北の太平洋側に分布し、海岸の崖などに自生する日本原産のキク科の植物です。葉は肉厚で光沢があり、7cm前後の大きな白い花を咲かせます。

ハマギクの学名は、茨城の生んだ植物学者、松村任三博士が命名しました。

本公園のある「ひたちなか市」の花はこのハマギクで、ひたちなか市付近がハマギクの自生地の南限となっています。

【ひたち海浜公園のハマギク】

本公園では、砂丘エリアの晩秋を彩る海浜部特有の植物として、砂丘エリアの風景に溶け込むように植栽され、自生地である崖の風情を思わせる砂礫の小丘で咲く花は、際立つ存在感を醸しています。ひたち海浜公園では、平成20年から21年にかけて公園ボランティア「海浜植物パートナー」さんがハマギクの挿し芽を行い、常陸野サークルや海浜口サイクルセンター付近に400株増やしています。

■10月25日現在の状況



平成21年10月22日撮影

現在、砂丘エリアの「海浜テラス」や、「香りの谷」周辺にて、清らかで真っ白な花を咲かせており、11月上旬頃までお楽しみいただけます。

貴重な砂丘や海浜植物を保全する

公園ボランティア「海浜植物パートナー」

「かつて本公園の周辺一帯を彩っていた海浜植物の咲き誇る風景を取り戻そう！」と、海浜植物をはじめとする野草類の保護・育成を行っています。

平成17年度（H18.1）に立ち上がり、現在19名が活動しています。



海浜植物パートナー活動風景 平成21年7月3日撮影

林縁でひっそりと冬の訪れを告げる花

ツワブキ

Farfugium japonicum

キク科ツワブキ属 多年草

原産地：日本

開花：

10月上旬から11月上旬

【ツワブキ豆知識】



ツワブキは福島・石川県以西の海岸や海辺の山などに自生する常緑のキク科の多年草です。

名前の由来は、フキに似ていること、そして、葉に海浜植物特有の光沢があることから、ツヤブキが転訛したと言われています。

葉や花が美しく、ハマギク、イソギクと並んで観賞価値が高いことから、古くから栽培されてきました。

秋になると 70cm 程度の花茎が伸び、径 3~6cm の黄色い花をつけます。花後はタンポポのような綿ぼうしを 1 月下旬頃まで楽しむことができます。



冬の陽だまりに映える綿ぼうし

【ひたち海浜公園のツワブキ】

平成 21 年に公園ボランティア「ひたちガーデナーズ倶楽部」さんにより、園内のツワブキを株分けし、ワイルドバルブガーデンに約 20 株植栽しました。来年の春には、たくさんのツワブキが花を咲かせて皆さんをお迎えする予定です。

■ 10月 25 日現在の状況

バーベキュー広場の海浜口側、泉の広場付近、ガーデントレイン周辺などの松林の中で、現在、見頃を迎えています。



平成 21 年 10 月 22 日撮影

ワイルドバルブガーデンを手入れする公園ボランティア 「ひたちガーデナーズ倶楽部」

松やコナラ、ヤマザクラ等の落葉樹の林床に、宿根草や花木を中心に自然の中の庭園を楽しめるように作られたワイルドバルブガーデンを活動の拠点として、ガーデニングのプランニングから手入れまで行っています。

平成 15 年度 (H16.1) に立ち上がり、現在 39 名が活動しています。



ひたちガーデナーズ倶楽部活動風景 平成 21 年 10 月 1 日撮影